

健康 わんだーらんど Wonder Land



秋号 2020
Vol.67

こんにちは健康ワンダーランドです。今回は“子宮頸がんウイルス”について取りあげてみました。

「今、若い人に子宮頸がんウイルスの感染が急増しています！」

佐世保中央病院 健康増進センター 石丸 忠之
長崎大学医学部 名誉教授



子宮がんは子宮体部にできる子宮体がんと子宮頸部にできる子宮頸がんに分類され、体がんは40%、頸がんは60%の発生頻度です。子宮体がんの発生には女性ホルモン(エストロゲン)がかかわっているものと、そうでないものがあり、その詳細はまだよくわかっていません。一方、子宮頸がんの発生原因のほとんどは、ヒトパピローマウイルス(HPV)感染によることが明らかにされています。毎年約3万人の人が子宮頸がん罹患し、約10%の人が亡くなっています。子宮頸がんの原因となるHPVの種類は数多いのですが、そのうちの13種類(16型, 18, 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 68)が高リスク型と呼ばれ、このなかでも16, 18, 31, 33, 35, 52, 58の7つが進展リスクの高いウイルスです。31種類のHPVについての年代別膣内感染率の報告を見ると16~19歳で60%、20~29は48%、30~39は41%、40~49は30%と若い人ほど頻度は高く、年齢が高くなるにつれて感染頻度は低下しています。また、全体の感染率を1995年と2013年で比較すると、2013年の感染率は約4倍高くなっています(図1)。

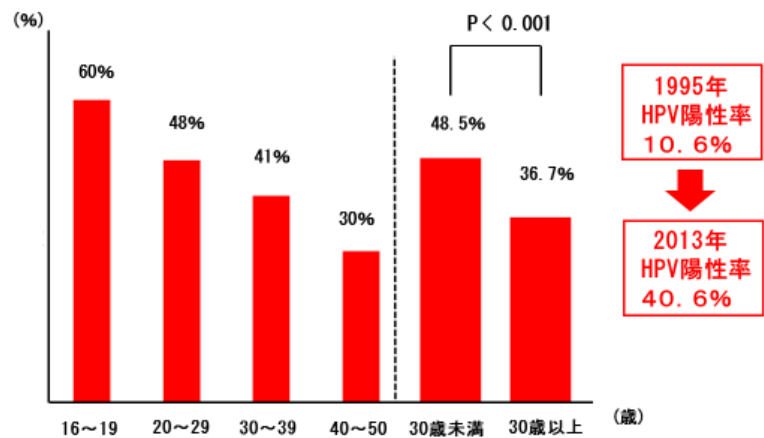


図1: HPVの年代別感染率(検査対象 6,831人)
(2013年日本産婦人科学会、前濱俊之氏講演資料より抜粋)

若い人の感染頻度が高い理由については、若い人ほどsexual activityが高く、性交相手の数が多いこと(15~20%の男性の精液、陰茎、外陰部にウイルスが存在)、また生殖器が不潔のままでの性行為が多いこと(ウイルスは男女の外陰部にも存在)、さらに粗暴な性行為による子宮頸部(子宮頸がんの発生する場所)が損傷を受け、この部位よりウイルスが侵入すること、などがあげられます。HPV感染の特徴の一つに、抗体が産生されないことがあげられ、このために再感染を繰り返します。したがって感染既往のある人も含めて、1年に1回、間隔を空けたとしても2年に1回の定期的な検診が必要です。重要なことはこのウイルス感染の頻度は環境因子によっても異なることです。たとえば喫煙者、過労やストレスを受けている人、免疫能低下をきたす薬剤を服用している人、あるいは免疫能低下をきたす疾患に罹患している人、また膣感染症に罹患している人(子宮頸部が損傷されやすい)はHPV感染リスクが高くなるので、このようなリスクを有する人に対しては定期的な子宮がん検診を強くお勧めします。

⇒ 次ページへ

ウイルスの最初の感染場所は、子宮腔部の扁平上皮と円柱上皮との境界部位(SCJと呼ばれる)です。この境界部位(SCJ)は思春期前半の女子では頸管の奥に存在しますが、年齢を経るにつれ女性ホルモン(エストロゲン)の分泌が増加し、SCJは次第に腔腔に露出してきます。この状態は通常びらん(本当は偽びらんと呼ぶのが正しい)とよばれています(図2)。

このびらん面は傷つきやすく、陰茎の挿入接触や膣の炎症などで傷つき、その傷からウイルスが侵入し、子宮腔部の基底細胞に感染し、この感染細胞が子宮頸がんの発生母地となります。しかし、びらん面にHPVが感染しても直ちに子宮頸がんとなるわけではなく、がん発生まではおよそ10数年の期間が必要です。

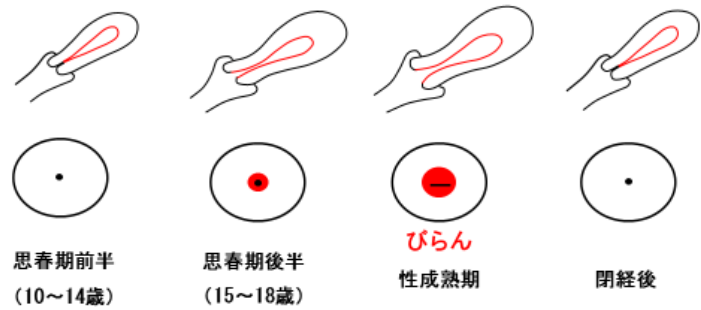


図2：加齢に伴う子宮腔部の変化

しかし、若い人では一般的に進展が早く10年未満でがんが発生することも少なくないので注意が必要です。ウイルスが感染すると大部分(90%)は2~3年で排除されますが、10%は持続感染状態となり、やがて前がん病変(症状は出ません)を経てがんになります(図3)。したがって定期的な検診さえ受けていれば、前がん病変で見つかり、比較的簡単な治療法(子宮頸部円錐切除術)で治すことができます。

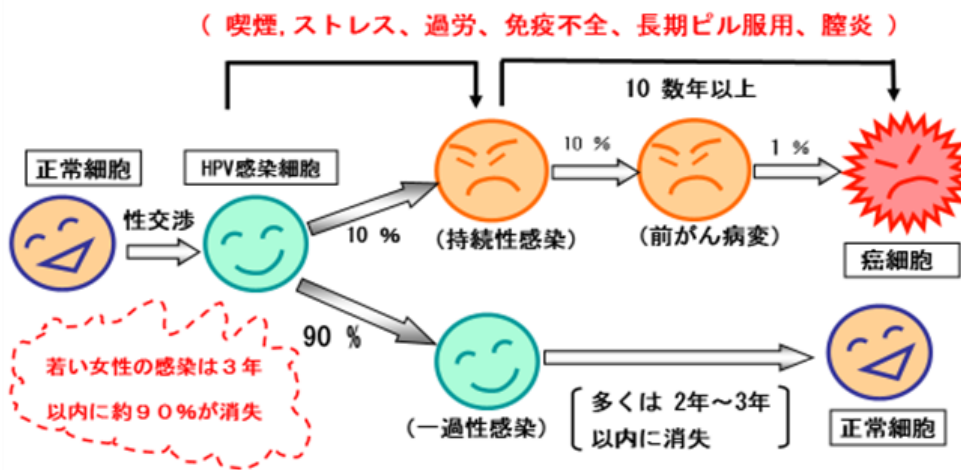


図3：HPV感染後の経過



子宮がん検診は綿棒、竹へら、ブラシなどの器具を用いて子宮腔部の細胞を擦過し、それをプレパラート上に塗布し、染色した細胞を顕微鏡で調べます。細胞採取時にはほとんど痛みはありません。時間的にもクスコ診と細胞診だけの検査でしたら数十秒で終了します。今まで述べてきましたように、子宮頸がんのほとんどはHPV感染で発症しますので、この感染を予防するためのワクチンが開発され、2006年に発売されました。このワクチンは今では世界中で使用されています。このワクチンは16型と18型のウイルスの感染予防に有用です。子宮頸がん全体の60~70%の原因は16型と18型のウイルス感染によるものであり、また20~30歳代の子宮頸がんの80%はこの2つの型のウイルスで発症しています。この子宮頸がんワクチンは発売されてから、まだ十数年しか経過していませんので、ワクチン有効期間の評価にはもう少し時間が必要ですが、少なくとも今までに報告された抗体価の推移から見て、10数年は有効であると考えられます。上述のように、若い人では16型と18型のウイルス感染頻度が高いので、このワクチンの予防効果は高いと思われます。

⇒ 次ページへ

日本でも2009年から2013年にかけて、800万人以上の女子学生(中学1年生～高校1年生)を対象にワクチン投与がなされ、その後の追跡調査の結果、16型と18型に起因する子宮頸がんやその前がん病変に対する予防的効果はほぼ100%であったと報告されています。しかし、残念ながらごく少数例ではありますが、重篤な副反応(有害事象)が発生し(表1)、今は国による積極的勧奨は中断されています。

しかし、若い人に対する感染予防効果は極めて高いことが確認されていますので、産婦人科学会はワクチン接種を勧めています。現在、初交前(小学6年～高校1年)の女性に対し、このワクチンの無料定期接種(公費助成)がなされていますので、この対象年齢のお子さんをお持ちの保護者の方は近くの産婦人科専門医へ、相談されることをお勧めします。

HPVワクチン接種後の副反応の頻度
(調査対象：約830万人)

広範な疼痛、運動障害	10万接種当たり	2.0 件
アナフィラキシー	10万接種当たり	0.1 件
ギランバレー症候群	10万接種当たり	0.06 件
急性散在性脳脊髄炎	10万接種当たり	0.04 件

表1：HPVワクチン接種後の副反応
(2017年産婦人科診療ガイドラインより)

子宮がん検診のすすめ ～当施設の子宮がん検診のご紹介～

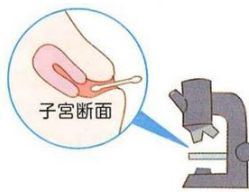


● 子宮頸がん検診の流れ



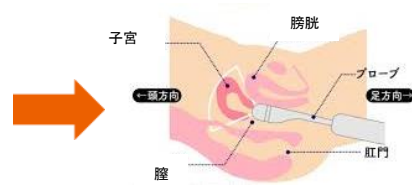
【問診・視診・触診】

医師が問診を行い、子宮頸部の状態を目で確認します。必要に応じて、子宮および卵巣・卵管の触診も行います。



【細胞診検査】

子宮頸部の表面(粘膜)から軽くこすり取った細胞を顕微鏡で調べます。



【経膈超音波検査】

医師がプローブ(探触子)を挿入し、子宮や卵巣を超音波を使ってモニターに写し、病変がないか調べます。

● 当施設のオプション料金

- 子宮頸部 がん検診 4,000円 (税別)
- 子宮頸部 + 体部 がん検診 9,000円 (税別)
- HPV検査 4,000円 (税別)

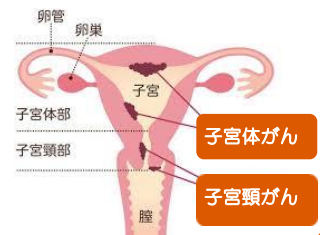
● 佐世保市がん検診について

- 子宮頸部 がん検診
 - 20～69歳 (国保) 無料
 - 20～69歳 (社保) 1,000円 (税込)
 - ※但し、70歳以上は加入保険に関係なく無料
- 子宮頸部 + 体部 がん検診
 - 20～69歳 (国保) 無料
 - 20～69歳 (社保) 1,700円 (税込)
 - ※但し、70歳以上は加入保険に関係なく無料

《“子宮体がん”について》

今回説明しませんでしたでしたが、子宮がんには、子宮の体部に発生する“子宮体がん”があります。最近我が国では、50歳以上の女性に増えてきています。そのほとんどは、子宮体部の内側にあり、卵巣から分泌されるエストロゲンの作用をうけて月経をおこす子宮内膜という組織から発生し、子宮内膜がんとも呼ばれています。

子宮体がん検診については、左記の当施設オプションおよび佐世保市がん検診での受診が可能です。



【お問い合わせ先】佐世保中央病院 健康増進センター

ご不明な点は、下記までご連絡なくお尋ねください。

直通電話番号 (0956)33-5335

FAX番号(0956)33-5336



佐世保中央病院 健康増進センター 基本理念と基本方針

【基本理念】

受診者の健康を支援し、活力のある地域社会の実現に貢献します。

1. 生活習慣病の早期発見と予防の啓発に努め、健康の維持・増進をサポートします。
2. 検査技術や診断機器の精度向上を常に心がけ、質の高い健康診断を提供します。
3. 健康診断や保健指導を通して、受診者のライフスタイルを考えた継続的な支援を行います。
4. すべてのスタッフが相互に協力・連携して、受診者の皆様に満足いただけるサービスを提供します。
5. 健康診断業務で得られた個人情報の守秘義務と、受診者ご自身の知る権利を遵守します。

健康増進センター 診察担当医

	月	火	水	木	金
午前診察	常勤医 : 中尾・寺園・川内 非常勤医 :	元永・黒田・石嶋			
午後診察	※ 毎日2~3名の医師が担当いたします				
婦人科検診	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸

健診に関するご予約・お問い合わせについて

☆健診をご希望の方は、**完全予約制**になっておりますので、健康増進センター窓口にお越しいただくか、お電話およびホームページからのご予約をお願い致します。

○お問い合わせ時間

月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00

○休診日 土・日曜日、祝日 8月14日～15日（夏季） 12月30日～1月3日（年末年始）



【健康増進センター直通】

電話番号 (0956)33-5335

FAX番号 (0956)33-5336

メールアドレス sch-kenkoh@hakujujikai.or.jp

右のQRコードをご登録してアクセスいただければ
当施設ホームページから人間ドックのご予約ができます。



編集後記

早いもので、今年も残すところ2ヶ月余りとなり、この健康ワンダーランドも本年最後の発行となりました。一年間ご愛読いただき有り難うございました。さて、本号では、若年層に急増している子宮頸がんについて、担当医師から詳しい情報提供を行わせていただきました。ご参考いただければ幸いです。次回発行日は、来年1月を予定しています。どうぞご期待ください。

